



平成29年11月

小・中学校長 様  
国語担当者 様

福島民友新聞社

**第26回「緑の提言・作文コンクール」実施要項**

- 1 目的** 緑は本県のかげがえのない財産であり、これらを守り育て次の世代に引き継ぐことが私たち県民に課せられた大きな使命です。地球温暖化に伴う異常気象や自然災害の多発など、私たちの身の回りにも大きな影響が現れてきており、「緑の大切さ」「森林と自然の保全」などの啓発活動が急務となっています。  
また、本県は震災や原発事故によって大きな影響を受け、緑や自然への感じ方や考え方も大きく変化してきていると思います。  
このため、県民の「緑・自然」に対する関心と意識を高めることを目的に、広く県内の児童・生徒から提言と作文を募集し、優れた作品を表彰・発表するものです。
- 2 主催** 福島民友新聞社、福島県森林・林業・緑化協会、農林中央金庫福島支店
- 3 後援** 福島県、福島県教育委員会、福島県小学校長会、福島県中学校長会（以上、申請中）
- 4 テーマ** 「ふるさとの緑を考える」  
(身近な体験・森林や自然環境の保全も含む)
- 5 応募資格** 県内の小・中学生（平成29年度現在）
- 6 部門**

  - ・小学校低学年の部（1、2年）………B4判400字詰め原稿用紙2枚以内（作文）
  - ・小学校中学年の部（3、4年）……… 2枚以内（作文）
  - ・小学校高学年の部（5、6年）……… 3枚以内（作文）
  - ・中学校の部……… 4枚を超えて5枚以内（提言・作文）
- 7 応募規定**

  - ・ **題名・学校名・学年・氏名は字数に含みます。原稿用紙の枠内に記入下さい。**  
(記入のしかたは右欄に図表掲載)
  - ・ 一人一編
  - ・ **右欄の作品添付票を必ず添付のこと。** ※以上、規定厳守です。
  - ・ 基本は学校単位の応募。個人も可。  
応募者全員に参加賞として、「花の種と4寸鉢のセット」をお贈りします。
- 8 締め切り** 平成30年1月18日(木) ※当日消印有効
- 9 申し込み** 〒960-8648 福島市柳町4-29 福島民友新聞社事業局  
「緑の提言・作文コンクール」係 TEL 024-523-1334  
あてに、右欄の「応募票」と別紙の「応募者名簿」を添えてお申し込み下さい。
- 10 審査** ◆予備審査：締め切り日以降実施 ◆本審査会：平成30年2月中旬（予定）  
福島県関係者、学校の先生および福島民友新聞社などの主催団体関係者によって行います。
- 11 表彰**

  - ①中学校の部、小学校高学年の部、同中学年の部、同低学年の部の4部門に分けて行います。
  - ②各部門ごとに金賞1名、銀賞1名、銅賞2名に賞状・盾・副賞を贈呈。  
入選4名、佳作若干名に賞状・副賞を贈呈。また、学校賞として数校に盾を贈呈。
  - ③表彰は、平成30年3月に学校を通じて伝達。
- 12 作品発表** 優秀作品は「みどりの日」（平成30年5月4日）に福島民友新聞紙上で紹介します。
- 13 その他** 応募された作品は返却しません。入賞作品の著作権は主催者に帰属します。  
個人情報、新聞掲載・HPなどでの発表以外の用途には使用しません。

《学校の応募票》※別紙「応募者名簿」も必ず添付願います。  
(弊社ウェブサイト「みんなのネット」の同コンクール欄からもダウンロード出来ます。)

「第26回緑の提言・作文コンクール」 応募票		学校名	学校
住 所	① 中学校の部		編
	② 小学校高学年の部		編
	③ 小学校中学年の部		編
電話番号	④ 小学校低学年の部		編
ご担当者名	合 計		編

《作品添付票》※作品に必ず添付してください。平成29年度 第26回緑の提言・作文コンクール

題 名		
ふりがな 氏 名 (漢字で記入)		男 女
学 校 名	市 町 村 私 立 学 校	学 年

キリトリセン

**【記入のしかた】** 厳守願います。

書き始め  
空きスペース  
学校名・学年  
氏名

**【作品の綴じ方】**

例) 小学校高学年の部の場合 本文(2枚半以上) 規定:3枚以内

(本文) 1枚目

(本文) 2枚目

(本文) 3枚目

※小学校低学年、中学年の部は、本文1枚半以上  
中学校の部は、本文4枚を超えて5枚以内

※【先生方へ】必ず、上記の「学校の応募票」に総数を記入し、個人用の応募票(「作品添付用応募票」)を個々の作品に添付してご応募下さい。応募者名がわかる名簿も添付して下さい。